

## 東?本?震災10年のコミュニティ復興状況 : 被災者 質問票調査結果から

著者	?? 由芳, 塩? 有美, 豊? 利久, 北後 明彦, 本莊 雄?, ピニエイロ アベウ・タイチ・コンノ, ゲゼール イエガネ
雑誌名	災害復興研究
号	13
ページ	51-63
発行年	2021-09-30
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10236/00029827">http://hdl.handle.net/10236/00029827</a>

## 《論文》

# 東日本大震災 10 年のコミュニティ復興状況

## ——被災者質問票調査 結果から

金子 由芳<sup>1</sup>塩見 有美<sup>2</sup>豊田 利久<sup>3</sup>北後 明彦<sup>4</sup>本荘 雄一<sup>5</sup>ピニエイロ・アベウ・タイチ・コンノ<sup>6</sup>イエガネ・ゲゼール<sup>7</sup>

### 要約

本稿の目的は、東日本大震災により甚大な被害を受けた岩手県、宮城県両県の 8 市町 10 地区の住民を対象とした質問紙調査より、震災前と現在の地域コミュニティの活動状況の変化に着目し、地域活動内容、活動の場の観点から比較、検証を行うことである。

分析の結果、以下について示された。(1) 住民の認識する地域活動及び実際に参加している地域活動は震災前に比べ減少している。(2) 震災前地域で最も行われてきたと住民が認識する伝統行事・祭りが、現在は順位を落とし、環境・清掃活動が最も多い。(3) 将来活発にしたい活動として、伝統行事・お祭りとする回答が多い。(4) 活動の場として、公民館は震災前に最も多く挙げられていたが、現在は集会所が最多となっている。(5) 活動場所への所要時間は震災前の 5 分から 15 分から、5 分以内との回答が増加した。こうした結果は、被災地に顕著な住民の高齢化、地域活動の縮小、小規模化を示すものである。伝統行事、地域づくりに対し、将来活発にしたいとの期待に加え、環境・清掃や防火・防災といった共助活動に多くかかわる地域性もあり、それを活かした地域づくりが期待される場所である。

キーワード：東日本大震災、地域コミュニティ、公民館、集会所、地域づくり

<sup>1</sup> 神戸大学 社会システムイノベーションセンター

<sup>2</sup> アジア防災センター

<sup>3</sup> 兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科

<sup>4</sup> 神戸大学 都市安全研究センター

<sup>5</sup> 兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科

<sup>6</sup> 人と防災未来センター

<sup>7</sup> 神戸大学大学院 工学研究科

## 1 はじめに

### 1.1 目的

東日本大震災から10年を迎えた岩手県・宮城県沿岸被災市町を対象に、筆者グループは生活復興住民意識調査を実施してきた（北後明彦他2021）。本稿は中でも震災前と現在の地域コミュニティの活動状況の変化について、地域活動内容、活動の場の観点から比較、検証を行うものである。

阪神・淡路大震災を契機として、「生活再建7要素」が復興達成度を計測する指標として開発された（木村玲欧他2001）。また被災者の主観的復興感の時間的変化を図る「復興カレンダー」の手法が定着してきた。こうした手法を用いた先行研究では、住宅、生計の復興に比べ、地域コミュニティの復興の遅れが指摘されている。NHK（2021）による岩手県、宮城県、福島県に対して実施した調査では「地域の活動がもとに戻った」という回答は2021年においても43.7%であり、調査10項目のうち、「地域経済が災害の影響を脱した22.0%」「自分が被災者だと意識しなくなった36.1%」に次いで低い（NHK2021）。そこで本稿では、具体的な「地域の活動」に関して質問票調査を実施し、その実態を明らかにするとともに、震災前、現在の具体的な変化を検証することにした。

### 1.2 調査対象、方法

本調査では2020年10月、岩手県5市町、宮城

表1 調査対象地区と回収率

対象地区		配布数	回収数	回収率 (%)
岩手県	宮古市 楯ヶ崎	286	43	15.03
	山田町 山田	610	76	12.46
	釜石市 平田	288	41	14.24
	陸前高田市 高田 中心部、北部	1232	241	19.56
	大船渡市 末崎	500	41	8.20
宮城県	南三陸町 志津川	758	132	17.41
	石巻市 新門脇、湊北・あゆみ野	1203	190	15.79
	仙台市 若林区荒井東	542	63	11.62
合計		5419	827	15.26

県の3市町の計8市町10地区の住民に質問票を配布した。対象地域としては、危険区域に指定され防災集団移転事業等の対象となった地域や、嵩上げ土地区画整理事業の対象となった地区（以下では、地区名は市町名のみを記載する。また陸前高田市と石巻市については、それぞれの市町の2地区を合わせたものである）を中心に、被災、復興状況の多様性を考慮して選択し、地区内全戸配布した。合計配布数5419通に対し、回収数は827通となり、回収率は15.3%となった。地域別の配布数と回収率を表1にまとめる。

### 1.3 調査概要

回答者の世代別では、各地区及び合計でも70代が最も多く、次いで60代が続く（表2）。70代、60代が回答者の約半数を占める。他方、20代、30代が少なく、両世代の合計は全体の1割にも満たない。

表2 回答者の居住地域と世代

	宮古市	山田町	釜石市	陸前高田市	大船渡市	南三陸町	石巻市	仙台市	計
30歳未満	1	1	0	4	0	2	2	1	11
30-39歳	1	0	2	9	1	3	10	5	31
40-49歳	2	9	1	30	4	14	24	14	98
50-59歳	6	13	2	49	4	17	36	6	133
60-69歳	14	15	14	55	10	31	41	15	195
70-79歳	15	25	16	60	12	43	56	17	244
80歳以上	4	13	6	31	9	20	20	5	108
計	43	76	41	238	40	130	189	63	820

回答者の性別は全体では男性 400 人、女性 422 人で女性が多いが、地区別では宮古市、釜石市、南三陸町で男性の回答数が女性を上回る（表 3）。また世代別では 60 代の男性回答者が多く、その

表 3 回答者の性別（地区別）

地区	男性	女性	計
宮古市	27	16	43
山田町	37	39	76
釜石市	24	17	41
陸前高田市	114	125	239
大船渡市	19	22	41
南三陸町	69	60	129
石巻市	80	110	190
仙台市	30	33	63
計	400	422	822

表 4 回答者の性別（世代別）

	男性	女性	計
30 歳未満	5	6	11
30-39 歳	7	24	31
40-49 歳	38	60	98
50-59 歳	64	69	133
60-69 歳	117	78	195
70-79 歳	117	125	242
80 歳以上	50	58	108
計	398	420	818

他の年代では女性回答者が男性を上回る（表 4）。

続いて住宅の再建状況に関して（表 5）、対象地区全体では災害公営住宅が約半数を占めており、山田町、釜石市、陸前高田市、南三陸町、石巻市、仙台市では最も多い。他方、宮古市と大船渡市では元地で修繕・改修が最も多い。この他にも区画整理地が 4 分の 1 程度を占める釜石市、南三陸町等、各地域における復興まちづくり事業の手法の違いが表われている。

そして、世代別に住宅再建状況を見ると、先にみたとおり約半数が災害公営住宅であるが、世代が高くなればなるほど、災害公営住宅の回答割合が高まっている（表 6）。30 歳未満では災害公営住宅の回答は 2 割であるのに対し、80 代以上では 7 割弱を占める。

## 2 地域活動

本稿では地域の活動に関する住民の認識と住民自身の参加を比較するため、地域としての活動及び参加している活動の二種類の設問を設定した。両設問に共通して、以下の 11 の選択肢（①伝統行事・お祭り、②サークル活動、③運動会、④冠婚葬祭、⑤子どもの活動支援、⑥老人会、⑦環

表 5 住宅の再建状況（地区別）

	元地で新築	元地で修繕・改修	区画整理地で新築	集団移転先で新築	自主移転地で新築	災害公営住宅	民間賃貸	仮設住宅	その他	計
宮古市	3 8.8%	8 23.5%	7 20.6%	0 0.0%	1 2.9%	5 14.7%	2 5.9%	0 0.0%	8 23.5%	34
山田町	6 8.5%	0 0.0%	12 16.9%	5 7.0%	2 2.8%	38 53.5%	1 1.4%	0 0.0%	7 9.9%	71
釜石市	1 2.8%	7 19.4%	9 25.0%	1 2.8%	3 8.3%	12 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 8.3%	36
陸前高田市	7 3.2%	21 9.7%	35 16.1%	9 4.1%	22 10.1%	89 41.0%	3 1.4%	1 0.5%	30 13.8%	217
大船渡市	2 5.4%	9 24.3%	1 2.7%	4 10.8%	8 21.6%	7 18.9%	0 0.0%	0 0.0%	6 16.2%	37
南三陸町	3 2.4%	1 0.8%	10 7.9%	35 27.8%	3 2.4%	70 55.6%	1 0.8%	1 0.8%	2 1.6%	126
石巻市	10 5.3%	16 8.6%	35 18.7%	16 8.6%	5 2.7%	91 48.7%	3 1.6%	4 2.1%	7 3.7%	187
仙台市	2 3.4%	5 8.5%	2 3.4%	4 6.8%	3 5.1%	36 61.0%	2 3.4%	2 3.4%	3 5.1%	59
計	34 4.8%	67 9.5%	111 15.7%	74 10.5%	47 6.6%	348 49.2%	12 1.7%	8 1.1%	66 9.3%	708

表6 住宅の再建状況（世代別）

	元地で 新築	元地で修 繕・改修	区画整理 地で新築	集団移転 先で新築	自主移転 地で新築	災害公営 住宅	民間賃貸	仮設住宅	その他	計
30歳未満	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	1 11.1%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	4 44.4%	9
30-39歳	2 6.7%	5 16.7%	8 26.7%	1 3.3%	2 6.7%	8 26.7%	0 0.0%	1 3.3%	3 10.0%	30
40-49歳	7 7.7%	13 14.3%	15 16.5%	10 11.0%	10 11.0%	24 26.4%	3 3.3%	3 3.3%	6 6.6%	91
50-59歳	5 4.0%	11 8.8%	21 16.8%	14 11.2%	10 8.0%	47 37.6%	4 3.2%	0 0.0%	13 10.4%	125
60-69歳	2 1.1%	12 6.5%	34 18.5%	27 14.7%	12 6.5%	77 41.8%	2 1.1%	2 1.1%	16 8.7%	184
70-79歳	12 5.4%	22 9.9%	25 11.2%	13 5.8%	7 3.1%	120 53.8%	3 1.3%	1 0.4%	20 9.0%	223
80歳以上	6 6.0%	4 4.0%	6 6.0%	7 7.0%	4 4.0%	68 68.0%	0 0.0%	1 1.0%	4 4.0%	100
計	34 4.5%	67 8.8%	110 14.4%	73 9.6%	46 6.0%	346 45.4%	12 1.6%	8 1.0%	66 8.7%	762

境・清掃、⑧防犯、⑨防火・防災、⑩地域づくり、⑪その他）を設定し、複数回答可とした。

## 2.1 地域としての活動

まず地域の活動として、震災前地域で行われてきた活動、現在行われている活動、将来活発にしたい活動についてたずねた。表7は震災前に地域で行われてきた活動を地区別に集計したものである。いずれの地区でも伝統行事が第1位を占め、仙台市が6割、他の市町では7割から9割弱もの高い回答を得た。次に回答が多いのは環境・清掃であり、山田町を除けばいずれの市町でも5割から6割の回答となっている。

次に現在の地域の活動についてたずねると、大きな変化が確認される（表8）。第一に回答数が718件から610件へと減少している。第二に震災前に高い回答数を得ていた伝統行事が順位を下げ、環境・清掃が各地区、全体で第1位を占めた。次いで挙げられる活動については地域の差異があり、サークル活動（宮古市）、防火・防災（山田町、大船渡市）、防犯（釜石市）、伝統行事（陸前高田市、大船渡市）、老人会（南三陸町、仙台市）、地域づくり（石巻市）となっている。

地域の活動として将来活発にしたい活動についてたずねたものが表9である。興味深い点として、先の現在行われている活動に比べ、若干回答数が減っているものの、再度伝統行事が選択されていることが挙げられる。南三陸町を除くすべての市町が第1位で、4割から6割の回答を得ている。なお南三陸町でも伝統行事は地域づくりに次いで第2位となっている。さらに興味深い点として、地域づくりがどの地区においても多く選ばれている。

同様に地域の活動に関し、震災前、現在、将来活発にしたい活動を世代別に集計したものが表10～12である。震災前地域で行われてきた活動に関し、先述のとおり伝統行事が最も多く、次いで環境・清掃が続く傾向は同じである（表10）。興味深いのは運動会の回答が30歳未満だけでなく30代から70代まで4割から6割の回答を得ている点である。

現在の活動は、地域別の集計と同様、環境・清掃がいずれも高く、30歳未満、80代以上を除くすべての世代で1位となっている（表11）。30歳未満はサークル活動、80代以上は老人会の回答が最も多い。さらに防火・防犯、地域づくりの回答も30代から70代の世代で増えている。

表7 震災前地域で行われてきた活動（複数回答）（地区別）

	伝統行事・お祭り	サークル活動	運動会	冠婚葬祭	子どもの活動支援	老人会	環境・清掃	防犯	防火・防災	地域づくり	その他
宮古市	29 70.7%	10 24.4%	11 26.8%	10 24.4%	7 17.1%	16 39.0%	26 63.4%	4 9.8%	10 24.4%	4 9.8%	2 4.9%
山田町	43 75.4%	14 24.6%	16 28.1%	19 33.3%	13 22.8%	20 35.1%	13 22.8%	12 21.1%	23 40.4%	12 21.1%	2 3.5%
釜石市	26 78.8%	5 15.2%	6 18.2%	8 24.2%	4 12.1%	8 24.2%	20 60.6%	8 24.2%	7 21.2%	11 33.3%	3 9.1%
陸前高田市	198 89.6%	47 21.3%	115 52.0%	85 38.5%	67 30.3%	108 48.9%	130 58.8%	57 25.8%	80 36.2%	62 28.1%	11 5.0%
大船渡市	32 82.1%	6 15.4%	28 71.8%	19 48.7%	12 30.8%	17 43.6%	24 61.5%	14 35.9%	17 43.6%	12 30.8%	0 0.0%
南三陸町	78 70.3%	27 24.3%	47 42.3%	47 42.3%	38 34.2%	58 52.3%	69 62.2%	29 26.1%	53 47.7%	38 34.2%	8 7.2%
石巻市	119 71.3%	24 14.4%	59 35.3%	45 26.9%	46 27.5%	50 29.9%	82 49.1%	34 20.4%	49 29.3%	36 21.6%	14 8.4%
仙台市	31 63.3%	7 14.3%	24 49.0%	12 24.5%	15 30.6%	19 38.8%	27 55.1%	11 22.4%	13 26.5%	10 20.4%	8 16.3%
全体	556 77.4%	140 19.5%	306 42.6%	245 34.1%	202 28.1%	296 41.2%	391 54.5%	169 23.5%	252 35.1%	185 25.8%	48 6.7%

表8 現在地域で行われている活動（複数回答）（地区別）

	伝統行事・お祭り	サークル活動	運動会	冠婚葬祭	子どもの活動支援	老人会	環境・清掃	防犯	防火・防災	地域づくり	その他
宮古市	11 28.2%	15 38.5%	7 17.9%	9 23.1%	2 5.1%	10 25.6%	20 51.3%	3 7.7%	10 25.6%	7 17.9%	2 5.1%
山田町	20 38.5%	7 13.5%	6 11.5%	14 26.9%	11 21.2%	15 28.8%	14 26.9%	7 13.5%	21 40.4%	13 25.0%	6 11.5%
釜石市	6 20.0%	4 13.3%	1 3.3%	5 16.7%	1 3.3%	6 20.0%	19 63.3%	8 26.7%	7 23.3%	5 16.7%	3 10.0%
陸前高田市	63 32.0%	40 20.3%	21 10.7%	46 23.4%	26 13.2%	48 24.4%	99 50.3%	38 19.3%	64 32.5%	41 20.8%	23 11.7%
大船渡市	16 44.4%	2 5.6%	13 36.1%	9 25.0%	9 25.0%	14 38.9%	23 63.9%	10 27.8%	16 44.4%	13 36.1%	2 5.6%
南三陸町	20 17.5%	17 14.9%	13 11.4%	25 21.9%	18 15.8%	38 33.3%	65 57.0%	17 14.9%	31 27.2%	46 40.4%	13 11.4%
石巻市	30 19.2%	36 23.1%	13 8.3%	20 12.8%	19 12.2%	32 20.5%	86 55.1%	17 10.9%	41 26.3%	57 36.5%	22 14.1%
仙台市	13 28.3%	12 26.1%	6 13.0%	2 4.3%	10 21.7%	16 34.8%	26 56.5%	8 17.4%	11 23.9%	11 23.9%	11 23.9%
全体	179 26.7%	133 19.9%	80 11.9%	130 19.4%	96 14.3%	179 26.7%	352 52.5%	108 16.1%	201 30.0%	193 28.8%	82 12.2%

表9 将来地域で活発にしたい（複数回答）（地区別）

	伝統行事・お祭り	サークル活動	運動会	冠婚葬祭	子どもの活動支援	老人会	環境・清掃	防犯	防火・防災	地域づくり	その他
宮古市	22 56.4%	11 28.2%	6 15.4%	4 10.3%	10 25.6%	8 20.5%	13 33.3%	4 10.3%	9 23.1%	17 43.6%	2 5.1%
山田町	25 48.1%	8 15.4%	5 9.6%	4 7.7%	12 23.1%	12 23.1%	13 25.0%	10 19.2%	13 25.0%	17 32.7%	9 17.3%
釜石市	17 60.7%	4 14.3%	1 3.6%	1 3.6%	4 14.3%	5 17.9%	8 28.6%	5 17.9%	8 28.6%	8 28.6%	0 0.0%
陸前高田市	116 58.3%	32 16.1%	23 11.6%	13 6.5%	53 26.6%	33 16.6%	50 25.1%	35 17.6%	62 31.2%	84 42.2%	14 7.0%
大船渡市	16 45.7%	9 25.7%	2 5.7%	3 8.6%	8 22.9%	6 17.1%	13 37.1%	7 20.0%	13 37.1%	16 45.7%	1 2.9%
南三陸町	41 39.4%	17 16.3%	15 14.4%	6 5.8%	29 27.9%	19 18.3%	26 25.0%	13 12.5%	26 25.0%	58 55.8%	6 5.8%
石巻市	65 41.9%	20 12.9%	5 3.2%	8 5.2%	38 24.5%	18 11.6%	47 30.3%	33 21.3%	38 24.5%	63 40.6%	24 15.5%
仙台市	10 23.8%	7 16.7%	5 11.9%	0 0.0%	8 19.0%	7 16.7%	16 38.1%	10 23.8%	11 26.2%	12 28.6%	3 7.1%
全体	312 47.7%	108 16.5%	62 9.5%	39 6.0%	162 24.8%	108 16.5%	186 28.4%	117 17.9%	180 27.5%	275 42.0%	59 9.0%

将来の活発にしたい活動については、地区別の結果と同様、伝統行事が多くの回答を得ており、30代から70代では4割から5割を占め、第1位となっている(表12)。そして地域づくりがどの世代からも3割から4割の高い回答を得ている。本設問に関し、興味深いのは30歳未満、30代の子育て世代は子どもの活動支援、80歳以上は老人会を第1位に選んでいることである。

## 2.2 参加している活動

実際に回答者が震災前参加していた、そして現在参加している活動について、先の設問と同じ選択肢を用いてたずねた。まず地区別に見た場合、回答者が実際に震災前参加していた活動は、前項の震災前の地域の活動とはほぼ類似した傾向を示しており、震災前は伝統行事、環境・清掃の回答数

表10 震災前地域で行われてきた活動(複数回答)(世代別)

	伝統行事・お祭り	サークル活動	運動会	冠婚葬祭	子どもの活動支援	老人会	環境・清掃	防犯	防火・防災	地域づくり	その他
30歳未満	6 60.0%	0 0.0%	6 60.0%	2 20.0%	2 20.0%	3 30.0%	5 50.0%	1 10.0%	1 10.0%	2 20.0%	2 20.0%
30-39歳	23 85.2%	4 14.8%	11 40.7%	9 33.3%	6 22.2%	10 37.0%	11 40.7%	6 22.2%	8 29.6%	8 29.6%	2 7.4%
40-49歳	67 81.7%	16 19.5%	35 42.7%	31 37.8%	37 45.1%	31 37.8%	49 59.8%	20 24.4%	33 40.2%	17 20.7%	7 8.5%
50-59歳	93 78.2%	21 17.6%	58 48.7%	44 37.0%	50 42.0%	49 41.2%	70 58.8%	32 26.9%	47 39.5%	31 26.1%	9 7.6%
60-69歳	144 83.7%	28 16.3%	85 49.4%	65 37.8%	51 29.7%	74 43.0%	107 62.2%	43 25.0%	66 38.4%	47 27.3%	5 2.9%
70-79歳	162 75.3%	51 23.7%	84 39.1%	67 31.2%	46 21.4%	80 37.2%	111 51.6%	51 23.7%	76 35.3%	61 28.4%	18 8.4%
80歳以上	57 64.0%	18 20.2%	24 27.0%	24 27.0%	8 9.0%	47 52.8%	35 39.3%	14 15.7%	19 21.3%	18 20.2%	5 5.6%
計	552 77.3%	138 19.3%	303 42.4%	242 33.9%	200 28.0%	294 41.2%	388 54.3%	167 23.4%	250 35.0%	184 25.8%	48 6.7%

表11 現在地域で行われている活動(複数回答)(世代別)

	伝統行事・お祭り	サークル活動	運動会	冠婚葬祭	子どもの活動支援	老人会	環境・清掃	防犯	防火・防災	地域づくり	その他
30歳未満	2 22.2%	8 88.9%	3 33.3%	2 22.2%	3 33.3%	3 33.3%	4 44.4%	0 0.0%	1 11.1%	2 22.2%	1 11.1%
30-39歳	9 33.3%	4 14.8%	6 22.2%	5 18.5%	6 22.2%	9 33.3%	13 48.1%	4 14.8%	11 40.7%	8 29.6%	1 3.7%
40-49歳	31 40.3%	12 15.6%	14 18.2%	14 18.2%	16 20.8%	24 31.2%	41 53.2%	12 15.6%	29 37.7%	24 31.2%	9 11.7%
50-59歳	33 30.3%	17 15.6%	17 15.6%	29 26.6%	23 21.1%	23 21.1%	59 54.1%	18 16.5%	39 35.8%	33 30.3%	14 12.8%
60-69歳	43 25.6%	26 15.5%	13 7.7%	32 19.0%	21 12.5%	37 22.0%	93 55.4%	28 16.7%	55 32.7%	56 33.3%	20 11.9%
70-79歳	42 19.4%	51 23.6%	20 9.3%	38 17.6%	20 9.3%	43 19.9%	107 49.5%	36 16.7%	55 25.5%	55 25.5%	46 21.3%
80歳以上	17 23.0%	21 28.4%	7 9.5%	10 13.5%	7 9.5%	39 52.7%	33 44.6%	8 10.8%	10 13.5%	13 17.6%	11 14.9%
計	177 26.0%	139 20.4%	80 11.8%	130 19.1%	96 14.1%	178 26.2%	350 51.5%	106 15.6%	200 29.4%	191 28.1%	102 15.0%



表 12 将来地域で活発にしたい活動（複数回答）（世代別）

	伝統行事・お祭り	サークル活動	運動会	冠婚葬祭	子どもの活動支援	老人会	環境・清掃	防犯	防火・防災	地域づくり	その他
30 歳未満	3	2	0	0	6	0	0	0	0	3	0
	37.5%	25.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%	0.0%
30-39 歳	10	2	1	0	10	1	5	8	8	7	2
	38.5%	7.7%	3.8%	0.0%	38.5%	3.8%	19.2%	30.8%	30.8%	26.9%	7.7%
40-49 歳	37	7	8	4	19	4	21	12	18	27	10
	46.8%	8.9%	10.1%	5.1%	24.1%	5.1%	26.6%	15.2%	22.8%	34.2%	12.7%
50-59 歳	57	12	13	6	40	17	40	30	41	50	14
	51.4%	10.8%	11.7%	5.4%	36.0%	15.3%	36.0%	27.0%	36.9%	45.0%	12.6%
60-69 歳	86	29	19	7	36	17	44	24	51	73	13
	54.1%	18.2%	11.9%	4.4%	22.6%	10.7%	27.7%	15.1%	32.1%	45.9%	8.2%
70-79 歳	90	41	16	13	36	33	55	30	42	87	14
	47.4%	21.6%	8.4%	6.8%	18.9%	17.4%	28.9%	15.8%	22.1%	45.8%	7.4%
80 歳以上	26	15	5	9	13	35	20	11	19	26	6
	33.8%	19.5%	6.5%	11.7%	16.9%	45.5%	26.0%	14.3%	24.7%	33.8%	7.8%
計	309	108	62	39	160	107	185	115	179	273	59
	47.5%	16.6%	9.5%	6.0%	24.6%	16.5%	28.5%	17.7%	27.5%	42.0%	9.1%

がいずれも多い（表 13～14）。同様に現在回答者が参加している活動について、環境・清掃が最多回答を得ている点は共通している。前項で地域の活動として地域づくりを 2 位にしたのは石巻市だけであったのに対し、参加している活動として 5 地区（山田町、陸前高田市、南三陸町、石巻市、仙台市）で地域づくり活動が 2 位となっている。

世代別で見た場合、回答数については実際に参加していた活動の回答数は、前項の地域の活動に関する回答よりもいずれも約 50 件程度少ない。そして震災前後の参加活動数を比べても、現在参加している活動が少ない。

現在参加している活動と、地域の活動についても類似傾向がみられる。ただし、地域で実施して

表 13 震災前回答者が参加していた活動（複数回答）（地区別）

	伝統行事・お祭り	サークル活動	運動会	冠婚葬祭	子どもの活動支援	老人会	環境・清掃	防犯	防火・防災	地域づくり	その他
宮古市	14	3	1	4	1	6	21	2	2	6	2
	38.9%	8.3%	2.8%	11.1%	2.8%	16.7%	58.3%	5.6%	5.6%	16.7%	5.6%
山田町	15	9	4	13	7	5	10	1	9	6	10
	30.0%	18.0%	8.0%	26.0%	14.0%	10.0%	20.0%	2.0%	18.0%	12.0%	20.0%
釜石市	14	4	2	4	2	2	16	1	3	8	1
	48.3%	13.8%	6.9%	13.8%	6.9%	6.9%	55.2%	3.4%	10.3%	27.6%	3.4%
陸前高田市	137	36	53	72	36	24	105	19	43	43	14
	67.5%	17.7%	26.1%	35.5%	17.7%	11.8%	51.7%	9.4%	21.2%	21.2%	6.9%
大船渡市	27	4	12	12	7	7	25	4	6	8	3
	73.0%	10.8%	32.4%	32.4%	18.9%	18.9%	67.6%	10.8%	16.2%	21.6%	8.1%
南三陸町	51	18	19	24	20	25	62	14	34	26	6
	47.2%	16.7%	17.6%	22.2%	18.5%	23.1%	57.4%	13.0%	31.5%	24.1%	5.6%
石巻市	69	22	15	28	34	12	73	18	25	28	23
	43.9%	14.0%	9.6%	17.8%	21.7%	7.6%	46.5%	11.5%	15.9%	17.8%	14.6%
仙台市	14	4	10	5	7	8	19	3	4	5	16
	30.4%	8.7%	21.7%	10.9%	15.2%	17.4%	41.3%	6.5%	8.7%	10.9%	34.8%
全体	341	100	116	162	114	89	331	62	126	130	75
	51.2%	15.0%	17.4%	24.3%	17.1%	13.4%	49.7%	9.3%	18.9%	19.5%	11.3%



表14 現在回答者が参加している活動（複数回答）（地区別）

	伝統行事・お祭り	サークル活動	運動会	冠婚葬祭	子どもの活動支援	老人会	環境・清掃	防犯	防火・防災	地域づくり	その他
宮古市	7 20.6%	8 23.5%	1 2.9%	1 2.9%	2 5.9%	4 11.8%	21 61.8%	2 5.9%	2 5.9%	3 8.8%	4 11.8%
山田町	6 12.5%	6 12.5%	1 2.1%	5 10.4%	4 8.3%	5 10.4%	10 20.8%	3 6.3%	7 14.6%	8 16.7%	14 29.2%
釜石市	2 8.0%	5 20.0%	0 0.0%	2 8.0%	0 0.0%	2 8.0%	15 60.0%	1 4.0%	3 12.0%	3 12.0%	2 8.0%
陸前高田市	44 24.2%	29 15.9%	9 4.9%	32 17.6%	10 5.5%	11 6.0%	86 47.3%	16 8.8%	28 15.4%	33 18.1%	31 17.0%
大船渡市	11 33.3%	7 21.2%	3 9.1%	10 30.3%	2 6.1%	8 24.2%	19 57.6%	2 6.1%	3 9.1%	7 21.2%	2 6.1%
南三陸町	8 7.5%	14 13.2%	8 7.5%	14 13.2%	12 11.3%	21 19.8%	58 54.7%	4 3.8%	19 17.9%	26 24.5%	12 11.3%
石巻市	23 15.9%	21 14.5%	3 2.1%	9 6.2%	12 8.3%	8 5.5%	46 31.7%	10 6.9%	17 11.7%	30 20.7%	35 24.1%
仙台市	5 11.6%	6 14.0%	2 4.7%	0 0.0%	3 7.0%	3 7.0%	20 46.5%	3 7.0%	3 7.0%	8 18.6%	15 34.9%
全体	106 17.2%	96 15.6%	27 4.4%	73 11.9%	45 7.3%	62 10.1%	275 44.6%	41 6.7%	82 13.3%	118 19.2%	115 18.7%

表15 震災前回答者が参加していた活動（複数回答）（世代別）

	伝統行事・お祭り	サークル活動	運動会	冠婚葬祭	子どもの活動支援	老人会	環境・清掃	防犯	防火・防災	地域づくり	その他
30歳未満	5 71.4%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
30-39歳	10 41.7%	0 0.0%	1 4.2%	2 8.3%	1 4.2%	0 0.0%	4 16.7%	1 4.2%	3 12.5%	2 8.3%	7 29.2%
40-49歳	45 60.0%	6 8.0%	15 20.0%	13 17.3%	24 32.0%	2 2.7%	38 50.7%	7 9.3%	12 16.0%	5 6.7%	11 14.7%
50-59歳	57 51.8%	11 10.0%	25 22.7%	33 30.0%	32 29.1%	6 5.5%	56 50.9%	10 9.1%	20 18.2%	22 20.0%	13 11.8%
60-69歳	84 52.2%	18 11.2%	26 16.1%	45 28.0%	18 11.2%	5 3.1%	82 50.9%	13 8.1%	29 18.0%	34 21.1%	18 11.2%
70-79歳	106 52.2%	41 20.2%	36 17.7%	49 24.1%	32 15.8%	37 18.2%	114 56.2%	24 11.8%	48 23.6%	52 25.6%	18 8.9%
80歳以上	31 37.8%	22 26.8%	12 14.6%	19 23.2%	4 4.9%	39 47.6%	33 40.2%	6 7.3%	13 15.9%	13 15.9%	8 9.8%
計	338 51.1%	99 15.0%	115 17.4%	161 24.3%	112 16.9%	89 13.4%	328 49.5%	61 9.2%	125 18.9%	128 19.3%	75 11.3%

表16 現在回答者が参加している活動（複数回答）（世代別）

	伝統行事・お祭り	サークル活動	運動会	冠婚葬祭	子どもの活動支援	老人会	環境・清掃	防犯	防火・防災	地域づくり	その他
30歳未満	1 14.3%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	3 42.9%
30-39歳	4 18.2%	0 0.0%	2 9.1%	1 4.5%	5 22.7%	0 0.0%	6 27.3%	1 4.5%	2 9.1%	2 9.1%	6 27.3%
40-49歳	12 17.6%	6 8.8%	7 10.3%	9 13.2%	9 13.2%	1 1.5%	35 51.5%	3 4.4%	9 13.2%	10 14.7%	13 19.1%
50-59歳	17 17.9%	5 5.3%	1 1.1%	15 15.8%	6 6.3%	0 0.0%	51 53.7%	6 6.3%	13 13.7%	20 21.1%	22 23.2%
60-69歳	27 17.4%	21 13.5%	2 1.3%	18 11.6%	7 4.5%	5 3.2%	79 51.0%	8 5.2%	21 13.5%	36 23.2%	31 20.0%
70-79歳	31 16.2%	41 21.5%	10 5.2%	21 11.0%	18 9.4%	25 13.1%	93 48.7%	17 8.9%	28 14.7%	45 23.6%	26 13.6%
80歳以上	13 17.8%	21 28.8%	5 6.8%	8 11.0%	0 0.0%	31 42.5%	27 37.0%	5 6.8%	7 9.6%	3 4.1%	12 16.4%
計	105 17.2%	96 15.7%	27 4.4%	72 11.8%	46 7.5%	62 10.1%	292 47.8%	40 6.5%	81 13.3%	116 19.0%	113 18.5%

いる活動として認識されていた防火・防犯は、実際参加している活動では全体では 16 ポイントも低く、地域活動に関する認識とのギャップが明らかになった。

### 3 地域活動場所へのアクセス

参加している活動場所及び自宅から活動場所への所要時間についてたずねた。

### 3.1 活動場所

東日本大震災では、地域活動の場も甚大な被害を受けた。被災地では地域活動の場である公共施設、寺社が壊滅的な被害を受け、比較的被害の軽微な施設は避難所として使用された。文部科学省(2012)によれば、公民館、図書館、博物館等を含む社会教育・体育、文化施設等の被害は岩手県 372 施設、宮城県 654 施設に上る。

そこで本稿では、震災前と現在、地域でよく参加している活動を行う場所について設問を設けた(表 17~18)<sup>1)</sup>。

表 17 震災前参加していた活動を行う場所(複数回答)(地区別)

	保有建物*	学校	体育館	個人宅	居酒屋	喫茶店・カフェ	コミュニティセンター	公民館	集会所・集会場	その他
宮古市	5 17.9%	0 0.0%	2 7.1%	5 17.9%	1 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	11 39.3%	0 0.0%	4 14.3%
山田町	2 5.4%	5 13.5%	4 10.8%	5 13.5%	2 5.4%	0 0.0%	7 18.9%	4 10.8%	1 2.7%	12 32.4%
釜石市	4 16.0%	4 16.0%	3 12.0%	1 4.0%	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.0%	4 16.0%	9 36.0%
陸前高田市	44 23.9%	24 13.0%	26 14.1%	8 4.3%	5 2.7%	4 2.2%	7 3.8%	62 33.7%	2 1.1%	28 15.2%
大船渡市	4 11.4%	4 11.4%	5 14.3%	3 8.6%	1 2.9%	0 0.0%	0 0.0%	19 54.3%	1 2.9%	4 11.4%
南三陸町	22 22.0%	17 17.0%	17 17.0%	14 14.0%	3 3.0%	4 4.0%	0 0.0%	16 16.0%	27 27.0%	13 13.0%
石巻市	31 20.7%	32 21.3%	17 11.3%	17 11.3%	3 2.0%	2 1.3%	0 0.0%	13 8.7%	29 19.3%	24 16.0%
仙台市	3 7.0%	12 27.9%	7 16.3%	7 16.3%	1 2.3%	0 0.0%	3 7.0%	1 2.3%	8 18.6%	5 11.6%
全体	115 19.1%	98 16.3%	81 13.5%	60 10.0%	17 2.8%	10 1.7%	17 2.8%	127 21.1%	72 12.0%	99 16.4%

\*保有建物はコミュニティセンター、公民館、集会所を除く

表 18 現在参加している活動を行う場所(複数回答)(地区別)

	保有建物*	学校	体育館	個人宅	居酒屋	喫茶店・カフェ	コミュニティセンター	公民館	集会所・集会場	その他
宮古市	2 6.9%	0 0.0%	2 6.9%	7 24.1%	1 3.4%	0 0.0%	0 0.0%	11 37.9%	0 0.0%	4 13.8%
山田町	6 15.4%	1 2.6%	1 2.6%	2 5.1%	0 0.0%	0 0.0%	6 15.4%	2 5.1%	4 10.3%	11 28.2%
釜石市	4 16.0%	3 12.0%	3 12.0%	2 8.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.0%	5 20.0%	8 32.0%
陸前高田市	29 16.9%	11 6.4%	15 8.7%	9 5.2%	4 2.3%	2 1.2%	10 5.8%	32 18.6%	22 12.8%	36 20.9%
大船渡市	3 9.7%	4 12.9%	3 9.7%	2 6.5%	1 3.2%	1 3.2%	0 0.0%	16 51.6%	1 3.2%	4 12.9%
南三陸町	16 16.7%	8 8.3%	9 9.4%	7 7.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.0%	3 3.1%	52 54.2%	11 11.5%
石巻市	19 13.0%	10 6.8%	4 2.7%	8 5.5%	0 0.0%	2 1.4%	4 2.7%	2 1.4%	63 43.2%	26 17.8%
仙台市	3 8.3%	3 8.3%	1 2.8%	3 8.3%	0 0.0%	2 5.6%	1 2.8%	0 0.0%	15 41.7%	4 11.1%
全体	82 14.3%	40 7.0%	38 6.6%	40 7.0%	6 1.0%	7 1.2%	22 3.8%	67 11.7%	162 28.2%	104 18.1%

\*保有建物はコミュニティセンター、公民館、集会所を除く

震災前、全体では公民館が最も回答が多く、中でも宮古市、陸前高田市、大船渡市が1位であった。その他には学校（釜石市、石巻市、仙台市）、集会所（釜石市、南三陸町）、コミュニティセンター（山田町）、団体の保有建物（釜石市）等、地域による回答のばらつきがみられる。

震災前と現在の活動場所には大きな変化が確認できる。まず現在の活動場所として全体のポイントが下がったのは団体の保有建物、学校、体育館、個人宅、居酒屋、喫茶店・カフェ、公民館で

ある。中でも公民館は21.1%から11.7%へと半減している。他方、コミュニティセンター、集会所、その他が増えており、特に集会所は震災前に比べ、12.0%から28.2%へと倍増している。

次に世代別にみると、震災前、50代以上の世代及び全体は公民館の回答が最も多かったが、現在それが集会所に取って代わっている（表19～20）。また震災前、学校は30歳未満から50代の回答が多かったが、全体のポイントでは半分に落ちている。

表19 震災前参加していた活動を行う場所（複数回答）（世代別）

	保有建物*	学校	体育館	個人宅	居酒屋	喫茶店・ カフェ	コミュニティ センター	公民館	集会所・集 会場	その他
30歳未満	1	3	1	1	0	0	0	1	0	0
	16.7%	50.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
30-39歳	6	5	2	0	3	0	1	0	1	4
	25.0%	20.8%	8.3%	0.0%	12.5%	0.0%	4.2%	0.0%	4.2%	16.7%
40-49歳	18	28	17	1	2	1	1	12	6	10
	23.7%	36.8%	22.4%	1.3%	2.6%	1.3%	1.3%	15.8%	7.9%	13.2%
50-59歳	24	21	9	10	3	1	1	26	7	12
	24.2%	21.2%	9.1%	10.1%	3.0%	1.0%	1.0%	26.3%	7.1%	12.1%
60-69歳	24	21	13	13	5	2	4	35	18	26
	16.3%	14.3%	8.8%	8.8%	3.4%	1.4%	2.7%	23.8%	12.2%	17.7%
70-79歳	34	14	30	25	3	5	6	40	31	30
	18.9%	7.8%	16.7%	13.9%	1.7%	2.8%	3.3%	22.2%	17.2%	16.7%
80歳以上	8	6	8	10	1	1	4	11	9	16
	11.9%	9.0%	11.9%	14.9%	1.5%	1.5%	6.0%	16.4%	13.4%	23.9%
計	115	98	80	60	17	10	17	125	72	98
	19.2%	16.4%	13.4%	10.0%	2.8%	1.7%	2.8%	20.9%	12.0%	16.4%

\*保有建物はコミュニティセンター、公民館、集会所を除く

表20 現在参加している活動を行う場所（複数回答）（世代別）

	保有建物*	学校	体育館	個人宅	居酒屋	喫茶店・ カフェ	コミュニティ センター	公民館	集会所・集 会場	その他
30歳未満	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%
30-39歳	3	5	0	0	3	0	1	0	4	5
	13.6%	22.7%	0.0%	0.0%	13.6%	0.0%	4.5%	0.0%	18.2%	22.7%
40-49歳	12	16	9	2	0	2	1	9	10	15
	16.7%	22.2%	12.5%	2.8%	0.0%	2.8%	1.4%	12.5%	13.9%	20.8%
50-59歳	21	4	2	7	0	1	2	13	21	18
	22.8%	4.3%	2.2%	7.6%	0.0%	1.1%	2.2%	14.1%	22.8%	19.6%
60-69歳	16	6	9	13	2	0	7	20	41	24
	11.1%	4.2%	6.3%	9.0%	1.4%	0.0%	4.9%	13.9%	28.5%	16.7%
70-79歳	26	7	11	13	1	4	8	20	62	39
	15.1%	4.1%	6.4%	7.6%	0.6%	2.3%	4.7%	11.6%	36.0%	22.7%
80歳以上	2	2	7	4	0	0	3	4	24	9
	3.3%	3.3%	11.5%	6.6%	0.0%	0.0%	4.9%	6.6%	39.3%	14.8%
計	82	40	38	39	6	7	22	66	163	111
	14.4%	7.0%	6.7%	6.9%	1.1%	1.2%	3.9%	11.6%	28.7%	19.5%

\*保有建物はコミュニティセンター、公民館、集会所を除く

表 21 自宅から活動場所までの所要時間（地区別）

	震災前				現在			
	自宅から徒歩5分以内	5分～15分	その他	合計	自宅から徒歩5分以内	5分～15分	その他	計
宮古市	12	17	3	32	15	14	4	33
山田町	15	17	10	42	21	11	13	45
釜石市	15	12	1	28	17	6	4	27
陸前高田市	81	101	12	194	92	68	33	193
大船渡市	14	21	3	38	17	16	2	35
南三陸町	53	42	9	104	76	19	8	103
石巻市	69	63	17	149	97	26	29	152
仙台市	13	26	7	46	21	11	14	46
計	272	299	62	633	356	171	107	634

表 22 自宅から活動場所までの所要時間（世代別）

	震災前				現在			
	自宅から徒歩5分以内	5分～15分	その他	合計	自宅から徒歩5分以内	5分～15分	その他	計
30歳未満	1	4	1	6	1	1	3	5
30-39歳	6	14	6	26	9	12	6	27
40-49歳	29	37	7	73	35	22	17	74
50-59歳	53	38	8	99	55	25	21	101
60-69歳	74	65	16	155	101	33	26	160
70-79歳	77	104	17	198	111	60	21	192
80歳以上	30	35	7	72	41	17	14	72
計	270	297	62	629	353	170	108	631

### 3.2 自宅からの活動場所までの所要時間

表 21 は自宅からよく参加している活動場所までの所要時間について、震災前と現在を地区別に集計したものである。震災前は徒歩 15 分以内の回答が多かったが、現在は徒歩 5 分以内の回答が徒歩 5 分から 15 分以内の回答の倍となっている。

さらに世代別からも、徒歩 5 分以内の回答が 40 代以上の世代に増えていることが確認できる（表 22）。

## 4 考察

本稿は筆者グループが 2020 年 10 月、東日本大震災により甚大な被害を受けた岩手県、宮城県沿岸部にて実施した、地域活動に関する住民アンケート調査より、被災地の地域コミュニティの活動の変化を明らかにすることを目的に、地域活動

と地域活動場所へのアクセスを中心に集計をとりまとめた。そこで明らかになった点について次のようにまとめられる。(1) 住民の認識する地域活動及び実際に参加している地域活動は震災前に比べ減少している。(2) 震災前地域で最も行われてきたと住民が認識する伝統行事・お祭りが、現在は順位を落とし、環境・清掃活動が最も多い。(3) 将来活発にしたい活動として、伝統行事・お祭りとする回答が多い。(4) 活動の場として、公民館は震災前に最も多く挙げられていたが、現在は集会所が最多となっている。(5) 活動場所への所要時間は震災前の 5 分から 15 分から、5 分以内との回答が増加し最多となった。こうした結果は、被災地に顕著な住民の高齢化、地域活動の縮小、小規模化を示すものである。災害復興住宅に暮らす高齢の住民が増え、活動地域が災害復興住宅の集会所が活動の中心となっていることが示唆される。また過疎化、震災による学校の統廃合や、さらに先に述べたように公民館の震災被害の

影響もあるといえよう。

構造的な人口減、高齢化の中、地域活動の縮小傾向がみられる一方、伝統行事、地域づくりに対し、将来活発にしたいとの期待がもたれていた。さらに環境・清掃や防火・防災といった共助活動に多くかかわる地域性もあり、それを活かした地域づくりについて期待される場所である。

## 謝辞

本調査にご協力いただいた回答者の皆様にお礼申し上げます。本調査はひょうご震災記念21世紀研究機構等の助成により実施したものである。

## 注

- 1) 活動地域に関する質問に関し、リカテゴライズを行い、回答数の多かった「公民館」「コミュニティセンター」「集会所」を単独の選択肢として計算し直した。

## 参考文献

- 北後明彦・金子由芳・本莊雄一・豊田利久・塩見有美・ピニエイロ アベウ タイチ コンノ・イエガネ ゲゼール, 2021, 「東日本大震災復興十年の被災地における住民の生活復興意識調査の結果と考察」『国際協力論集』28(2):23-62.
- 木村玲欧・林春男・立木茂雄・田村圭子, 2001, 「被災者の主観的時間評価からみた生活再建過程:復興カレンダーの構築」『地域安全学会論文集』(6):241-250.
- 文部科学省, 2012, 「東日本大震災による被害情報について(第208報)」  
([https://www.mext.go.jp/component/a\\_menu/other/detail/\\_icsFiles/afieldfile/2012/10/30/135089\\_091410\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/component/a_menu/other/detail/_icsFiles/afieldfile/2012/10/30/135089_091410_1.pdf), 2021年5月1日にアクセス).
- NHK, 2021, 「東日本大震災10年 被災地の声 被災者アンケート」  
([https://www3.nhk.or.jp/news/special/shinsaiportal/10/questionnaire/pdf/shinsai10\\_questionnaire.pdf](https://www3.nhk.or.jp/news/special/shinsaiportal/10/questionnaire/pdf/shinsai10_questionnaire.pdf), 2021年5月1日アクセス).

# Extent of Community Recovery after Ten Years from the Great East Japan Earthquake and Tsunami: Findings from a Questionnaire Survey of Disaster Area Residents

Yuka Kaneko, Yumi Shiomi, Toshihisa Toyoda, Akihiko Hokugo, Yuichi Honjo, Abel Táiti Konno Pinheiro and Yagane Ghezelloo

## **Abstract:**

This paper aims to compare and analyze the changes in local community activities before and after the Great East Japan Earthquake and Tsunami in terms of the content and venues of the activities. The study is based on a questionnaire survey of residents in eight municipalities in Iwate and Miyagi prefectures.

The results show that (1) both the activities residents regard as communal and the communal activities they participate in are decreasing; (2) the traditional events and festivals in which residents were most active before have been replaced by environment and cleanup activities; (3) many answered they want to activate traditional events and festivals; (4) *kominkan* (community learning centers) were most frequently used for community activities before the disaster but they have now been replaced by *shukaijo* (community meeting places) in frequency of use; and (5) After the disaster, more people take less than 5 minutes to go to activity venues than people who take from 5–15 minutes. All these findings indicate aging of people in the disaster-hit areas and the reduced scale and group size of community activity.

## **Keywords:**

The Great East Japan Earthquake and Tsunami, local community, *kominkan* (community learning center), *shukaijo* (community meeting place), town planning